

球磨村立義務教育学校プログラミング教育支援業務
公募型プロポーザルに係る審査基準

球磨村立義務教育学校プログラミング教育支援業務公募型プロポーザルに係る審査基準は、球磨村（以下「発注者」という。）が、球磨村立義務教育学校プログラミング教育支援業務（以下「本業務」という。）を発注する事業者の募集及び選定を行うにあたって、本事業の募集に参加しようとする事業者（以下「参加事業者」という。）の中から、最優秀提案事業者を選定する方法及び評価項目等を示し、参加事業者の提案に具体的な指針を与えるものであり、参加事業者へ公表する公募型プロポーザル実施要項の一部とする。

【選定方法の流れ（イメージ図）】

1. 参加事業者	参加申込書の提出
2. 事務局	【参加資格確認】参加申込書をもとに参加資格の確認
3. 事務局	参加事業者へ参加資格結果の通知
4. 参加事業者	提案書の提出
5. 評価委員会	【提案審査】プレゼンテーション、ヒアリングによる審査（提案書評価） ※併せて、価格点も算出する。
6. 評価委員会	最優秀提案事業者及び次点提案事業者の選定
7. 評価委員会	参加事業者へ提案審査の結果通知

【評価項目及び得点化基準】

1 提案内容の評価

(1) 評価項目

評価項目		判断基準	評価点	
提案内容の評価	プレゼンテーションによる審査	事業者実績	過去5年以内に、講師派遣・委託請負業として本事業と同じ、または類似する事業の実績があるか。	30
		講師資格	担当予定の講師は本事業の品質を高めるにあたり、有効な資格を保有しているか。 例：「教員免許」等の教育に関する資格、「ICT 支援員認定試験」等の学校 ICT に関する資格、その他本事業を実施するにあたり有効と思われる資格	50
		講師経験	担当予定の講師は本事業の品質を高めるにあたり有効な経験（授業の経験回数や教員・児童・生徒とのコミュニケーションがとれる技術 等）を有した人材であるか。	50
		組織体制の柔軟性	学校の都合により予定変更が生じた場合、柔軟な対応ができるか。	30
		業務実施体制	本業務を行うにあたって本村と連携がスムーズに行える業務実施体制を提案できているか。また、事故やケガ等が発生しないよう配慮がなされているか。	40
		実施予定カリキュラム	プログラミングの実体験を、参加した児童生徒全員が等しく体験でき、児童生徒の学習意欲が高まるような工夫がなされているか。 また、情報活用能力を言語能力と同様に学習の基盤となる資質・能力と位置づけた学習を図る等、小学校及び中学校の学習指導要領におけるプログラミング的思考を育成できるか。	100
		合計		

(2) 得点化基準

評価項目		得点化基準
プレゼンテーションによる 審査	事業者実績	極めて優れる...評価点×1.0 優れる...評価点×0.8 相当...評価点×0.6 やや劣る...評価点×0.4 劣る...評価点×0.2 不適格...評価点×0.0
	講師資格	
	講師経験	
	組織体制の柔軟性	
	業務実施体制	
	実施予定カリキュラム	

2 価格点（見積書）

見積金額を対象として、次に示す方法に基づき価格点を付与する。なお、見積金額が提案上限額を超過している参加事業者は失格とする。

球磨村立義務教育学校プログラミング教育支援業務に係る価格点

- ア 参加事業者のうち、「球磨村立義務教育学校プログラミング教育支援業務」に係る価格が最も低額であるものを第1位とし、価格点の満点である50点を付与する。
- イ その他の参加事業者の価格点は、第1位の見積金額（最低価格）と当該参加事業者の見積金額との比率により算出する。算出した得点の小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで求める。
価格点 = 50点 × (最低価格 / 当該提案価格)